

第三者評価基準 (様式2)
【 障害者・児福祉サービス版 】 R2年3月31日改定

A-1 利用者の尊重と権利擁護

	第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重	
A 1	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。
a ・ b ・ c	
評価概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意向を聞いたうえで、カラオケをしたりしています。 ・ 児童入所施設の児童については、学校駅伝大会の練習を希望した児童のために、児童と一緒に走る練習をしています。 ・ 利用者の自己決定や自己選択を引き出すために、店のシンボルマークをカードで示したり、インターネットでメニュー表を掲示して、テイクアウトをしたりしています。 ・ 生活にかかわるルールについて、利用者と話し合う機会はありませんが、児童においては、ゲーム機の使用時間等について、担当職員と利用者で話し合う機会を設けています。 	
A-1-(2) 権利擁護	
A 2	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。
a ・ — ・ c	
評価概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人全体で権利擁護マニュアルが整備され、施設内の各所に虐待防止の取組みが掲示されています。 ・ 虐待に関する目標については、自己を振り返るチェックシートを毎月聴取し、職員会議ですべての職員に集計結果を報告し、書面でも回覧して共有しています。 ・ 虐待防止委員会で検討されたことについては、その経緯について記録がなされ、その結果を掲示してすべての職員に報告しています。 ・ 緊急やむを得ない場合の身体拘束については、切迫性、非代替性、一時性の要件を確認したうえで応急的な対応を行ったのち、身体拘束に至った経緯、期間、解除、代替案について、緊急の職員会議を実施しています。身体拘束をなくすことに向けた取り組みについて、事業所として全職員の参画のもと、継続的に検討されることを期待します。 	

A-2 生活支援

	第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本	
A 3	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。
a ・ b ・ c	
評価概要	

<ul style="list-style-type: none"> ・自立できる生活上の行為は、見守りの姿勢を基本とした支援をしています。 ・身の整理整頓、掃除や片付け、身だしなみ、時間やスケジュール管理などについては、はじめは職員と一緒にいき、見守りながら日常的にできるように支援しています。 ・入所児童においては、起床時間を本人に決めてもらい、目覚まし時計をセットするなど、自立に向けた支援を行っています。 ・障害特性に配慮している点として、強度行動障害支援者養成研修を積極的に受講し、担当職員とサービス管理責任者で詳細について情報共有しています。 		
A 4	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが十分でない方に対しては、利用者の表情やしぐさなどから、行動の意図を探るための話し合いをしています。 ・コミュニケーション機器の活用事例として、タブレットを用いて、利用者の意思表示を支援したり、感情表現を支援するケースがあります。 ・利用者の特性に応じたコミュニケーション手法（手話、写真、イラスト、サイン）などから、ニーズ把握に努め、支援を行っています。 		
A 5	③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者とのコミュニケーションの中から、ニーズを聞きとり、いつでもどこでも相談できる環境を作っています。原因を紐解きながら、個別に解決のための支援を行っています。 ・職員間での情報共有については、記録や朝礼等で、常に確認しています。 ・行動援護を利用したい場合は、法人内の事業所に相談したり、法人内で解決が難しい場合は、他法人のサービスを活用するなど、相談内容に応じて、地域の関係機関と連携や協力等を行いながら支援をしています。 		
A 6	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の誕生日外出の内容を考えたり、活動計画を話し合うときには、利用者の意向を聞きながら実施していますが、さらに選択肢を増やすためのアンケート等の工夫が望まれます。 ・日中活動内容については、年度ごとに検討し、プログラムを決めています。障害特性に応じて、ビーズで製作したり、ちぎり絵をしたり、ベッドマットを解体するなど、選べる日中活動を実施しています。 		
A 7	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c
<p>評価概要</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ・障害に関する理解と支援の専門性向上の取組みとして、職員会議時に行うミニ研修や、自宅でも学習できるスペシャルラーニングを取り入れています。 ・虐待については法人外のアドバイザーが入り、助言を得ていますが、日々の不適応行動（行動障害）に関する支援について、外部の専門家の協力を得ながら研修の機会を作ることが望まれます。 ・利用者同士のトラブルへの対策として、日常の生活の様子や相性をみながら、リスクを予測して、予防支援の視点で支援しています。 		
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>		
A 8	<p>① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	a・ b ・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嗜好調査は年1回、栄養士が実施し、職員会議ですべての職員に周知しています。 ・食事を楽しい時間にするため、個人に合わせて椅子の高さを調整したり、温かいものが苦手な利用者には、冷たい状態にして提供するなど、支援の工夫が見られます。 ・排泄支援については、個人ごとに時間を見て誘導したり、定時の声掛けを行っています。 ・グループホームでは個別のニーズをふまえ、利用者の要望にできるだけ対応しています。 ・利用者から要望のあったウォシュレットを設置したり、エアロバイク等も導入しています。 ・グループホームでは、週末にスーパーに買い物に行き、自分の好きなものを購入できる環境を作っています。 		
<p>A-2-(3) 生活環境</p>		
A 9	<p>① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	a・b・ c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の不適応行動により、壁が壊れた際は、法人内の施設整備課による補修を迅速にしています。毎月、チェックを行い、最近では雨漏り改修工事、トイレのドアの建具交換等を行っています。 ・トイレ清掃については、日頃は職員で実施し、年1回の業者による定期清掃を行うことで、清潔な空間づくりに努めています。 ・利用者が快適に暮らせるための環境づくりについては、安全に配慮した空間ではあるものの、更なる生活環境の向上について、今後も検討する必要が望まれます。 		
<p>A-2-(4) 機能訓練・生活訓練</p>		
A 10	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	a・ b ・c
<p>評価概要</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、ウォーキングをすることで運動量を確保したり、レクリエーション作業を通じて手指訓練を行うなど、生活動作を通じた機能訓練の機会があります。 ・外部の専門職からの助言の機会として、週に1回、整形外科にリハビリに3名の方が通われており、機能訓練の方法等を職員が聞き、リハビリがない日でも実施できるようにしています。 ・その他、入浴時のマッサージや階段昇降に取り組んでいます。 ・口腔衛生については、年に2回歯科通院し、口腔ケアとブラッシング指導を受けています。 		
<p>A-2-(5) 健康管理・医療的な支援</p>		
A11	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭部外傷マニュアル、発熱者マニュアル、感染症マニュアルなど、きめ細かなマニュアルがあり、体調変化時（急変時）の手順や方法を明確にしています。 ・夜間の救急対応として、緊急連絡先を電話機に事前登録し、すぐに連絡できる体制があります。 ・また、看護師が夜間の緊急対応できるよう待機しており、看護師不在の場合は、サービス管理責任者や課長等が緊急対応できる仕組みがあります。 		
A12	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬等の管理は、薬局の薬剤師が訪問し、適切な管理方法で管理しています。また、看護師が個人ごとの仕訳や薬の仕訳を行い、適切な服薬管理を行っています。 ・服薬は看護師と支援員のダブルチェックを行い、毎食ごとに3日分の薬箱を準備して、誤薬の事故防止に努めています。 ・服薬等に関するマニュアルも整備され、慢性疾患やアレルギー疾患のある利用者には、食札に記載したり、ケース記録に適切に記録しながら、事故防止に努めています。 		
<p>A-2-(6) 社会参加、学習支援</p>		
A13	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	a・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加に向けた情報収集と提供として、星ヶ峯のふれあい館に外出し、フットサルやバスケットボールをしたり、学校のマラソン大会の応援に行くなど、利用者の希望と意向をふまえた支援を行っています。 ・地域の社会資源を活用した社会参加の事例として、市内のメルヘン館に外出したり、バスで天文館に行くなど、利用者の意向に沿った支援を行っています。 ・利用者の外出や外泊は原則、自由です。 		

<p>・コロナ禍以前は、知的障害者福祉協会主催のボウリング大会に参加したり、グラウンドゴルフ大会へ参加したり、県のハートピアに障害者の卓球教室に参加したことがあります。</p>		
<p>A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>		
<p>A14</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>a・b・c</p>
<p>評価概要</p>		
<p>・地域生活へ移行した実績として、グループホームが開始されたときに入所施設から1名と、ショートステイから1名移行された実績があります。</p> <p>・地域生活への移行アンケート調査や、移行のための生活環境の改善について、検討する機会を定期的に設け、地域の社会資源を踏まえた連携や協力が望まれます。</p>		
<p>A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>		
<p>A15</p>	<p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a・b・c</p>
<p>評価概要</p>		
<p>・家族との連携については毎月、サービス提供の確認書を送付しています。</p> <p>・通院などの必要が生じた際は、その都度、家族に連絡しています。</p> <p>・個別支援計画の同意などは、必要の都度、家族に来園いただき、適宜報告を行っています。</p> <p>・コロナ禍以前の家族参加の行事としては、遠足、とれとれ祭り（収穫祭）、夏祭り、クリスマス会、ピクニック等があります。</p> <p>・家族から要望のあったニーズについては、ケース記録に残し、職員間で共有しています。</p>		

A-3 発達支援

		<p>第三者評価結果</p>
<p>A-3-(1) 発達支援</p>		
<p>A16</p>	<p>① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。</p>	<p>a・b・c</p>
<p>評価概要</p>		
<p>・発達過程にあわせたプログラムとして、個別活動では、カレンダー作成、お絵かき、宿題支援、公共交通機関の体験、ランチ体験等があります。</p> <p>・集団活動としては、クッキング、ドライブ等を行っており、週1回はドライブにでかけています。</p> <p>・作成したカレンダーは、ポスターサイズの年間カレンダーにリメイクし、家族にプレゼントしたり、法人内に掲示しています。</p> <p>・放課後等デイサービスを並園利用されていたり、ショートステイの利用と重複して利用</p>		

されることがあるため、連絡帳により保護者や関係機関との連携を図っています。

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A17	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
評価外		
A18	② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a・b・c
評価概要		
評価外		
A19	③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
評価概要		
評価外		